

2019 年度 第 2 回 東町会館運営委員会議事録

開催日時 2019 年 8 月 26 日(月) 19 時 30 分～20 時 45 分
開催場所 協議会事務所（東町交流室）
出席：小川、勝久、清水千、原、谷口
欠席：花城、寺村、山地、藤井

議案

1. 屋根形状、外観に関して

第一回ワークショップ（2月16日（土））のメインテーマのひとつ、屋根形状（陸屋根、勾配屋根）と外観に関し意見集約～整理をした結果、陸屋根を望んでいた人たちの意見として、①屋根空間を利用して子供たちが遊べる。②ガーデニングスペースや緑化などに活用など、デザイン面での意見よりも、活用に関する面での希望がほぼほぼ全てでした。
（2019年3月理事会に提出、報告済）

委員会として話し合った結果

- ① 陸屋根の場合、将来的に雨水の防水処理、管理、メンテナンスの面で難がある。
（6月の会館和室、大集会室の雨漏りのように）
- ② 将来的に汚れが目立つ（同じく管理、メンテナンス面で難あり）
- ③ 新地区会館の容積率、建蔽率の面からも、会館建屋外に階段を設置する事は無理である。
- ④ 仮に建物外部に階段を設置した場合、不特定多数の人が屋上に昇れるため、防犯、安全の面からも懸念事項が生じる。
- ⑤ また会館集会室内に階段を設置する事も不可能である。（基本レイアウト上不可）

以上の事から、委員会としては勾配屋根を選択する事で合意しました。

* 片勾配と陸屋根部分の比率、最後部の大きさ、位置などは専門家の意見を優先する事としました。

2. 外観の色について

長谷工コーポレーション作成のパス（近隣イメージ、人物を含むイメージ図）では白基調、木目調の2種が提示されましたが、いずれにも、それぞれの良さがあり、メリット、デメリット面だけでは判断も出来ないなので、東地区のマンションの外観イメージがもう少し具体化するまでは、白・木目調のいずれとも決めず、ニュートラルでいく事で合意しました。

3. 7月28日（日）開催 第2回ワークショップに関して

A: 土足仕様、上履き仕様について

7月28日開催のワークショップに於いては、圧倒的に土足仕様を希望する声が多くみられました。

理由として

- ・履き替えの手間がなくてよい。
- ・コラボなどは土足仕様でも綺麗。
- ・足の具合が悪い方でも土足なら安心。

などの意見が多数みられ、上履き仕様は極々少数でした。

上履きを望まれる理由としては、子育てサロンや、子供を伴った保護者会など、乳幼児・子供が利用する際の衛生面での希望がほぼほぼ全てです。

新地区会館の床面積、集会室数、現在の利用状況に照らし、独立した和室を設置する事は難しく、畳タイプのマットを敷き詰める事で対応可能なので、**委員会としては「土足仕様」を選択する事で合意しました。**

（畳マットは集会室の一角だけ、もしくは全面に敷き詰めるなどフレキシブルに対応可）

また、ダスキンにフロア清掃の簡易見積もりをしたところ、床面積に対する価格設定ではなく、原則1週間に1回、2時間の清掃作業で3,500円～4,000円であるとの回答を受けていると委員長より報告がありました。

現在の収支状況に盛り込める見通しであると同時に、現在の清掃スタッフ（週1回、全室+トイレ、通路）による清掃と併せてプロのハウスクリーニングを利用すれば、綺麗に、清潔に維持管理が出来るであろうとの見解が示されました。

（トイレの清掃のみ毎日とし、シルバー人材などに依頼、地域住民へ公募する方法もある。）

B: トイレについて

新地区会館に於いては、現状と違い男子・女子・多目的トイレの3種が設置予定。

男子・女子トイレに関しては特に強い希望もなく、ワークショップでは多目的トイレに関しての意見集約となりました。

出た意見としては

- ・東町会館として必要な機能があればよい。
- ・スペースも限られているので必要最低限の機能があればよい。
- ・車椅子仕様は必須。
- ・センサーライト、ウォシュレットが望ましい。
- ・視聴覚障害者、杖を持った人たちへの配慮も必要。
- ・オストメイト（人口肛門洗浄機）は簡易なものでいいのではないか。

などといった意見がありました。

（全体としては、スペースに限りがあるので必要最低限といった方向）

*ただし、今回のワークショップには車いすを使っている方が参加されていないので、実際にそのような方たちにも意見を確認する必要があるとの見解で一致しました。

また、オストメイト（人口肛門洗浄機）に関して、大阪府福祉のまちづくり条例の基準を豊中市に確認する事としました。（新地区会館として、どこまでの設備が必要なのか）

新地区会館とは別に、東地区に建設予定のマンション1階部分に開店予定の核店舗（スーパー）内に、ある程度の設備を備えたトイレを設置してもらえるよう、組合・豊中市へ申し入れる事で合意しました。

C: オープンスペース（広場）の使い方について

第1回でも取り上げたテーマであり、多くの参加者が

- ・人が集えて交流できる空間
- ・緑や自然があればよい
- ・ベンチが欲しい
- ・イベントが出来る空間が欲しい（キャンドルなど）

といった意見が多数みられている中、今回出たアイデア、意見としては

- ・ イベントが出来る空間（キャンドルの模擬店を出せるような）
- ・ カフェと一体利用・活用出来るような空間
- ・ 情報発信・受信できる場所（掲示板設置など）
- ・ 花壇や緑が欲しい
- ・ 憩いのスペースとしてベンチを設置
- ・ 「ばるやま」のような人工芝を活用したスペースが欲しい
- ・ 柔らかい地面、雨水が乾きやすい地面

などの意見が多数で主流でした。

*緑（自然）を感じられ、カフェと広場を中心地として人が集え、交流でき、憩える場所
且つ、新地区会館に來れば地域の情報を知る事が出来る場所を望む意見が多くみられました。

その他の希望としては

- ・ 防災対応のベンチの設置（かまど型ベンチなど）
- ・ 物を設置せず広いスペースがよい

などの意見もありました。

特記事項として、数年前に東町に転入してきた時に、どこで東町の情報を取っていいのか、どこで収集していいのかわからず、非常に不満であったとの意見もありました。

（表面化しないだけで潜在的に多数おられるとみるべき）

委員会としては、新規設置予定のカフェと広場を活用した空間を、新たな東町地域のコミュニティの中心地として、人的交流・情報の発受信が行える場所として、次回WSでより具体化する事で合意しました。

次回ワークショップ（10月19日（土）開催）のテーマは、広場の使い方（最終回）、会館外壁に関する2点となりました。

* 会館外壁のサンプル:ワークショップ内で実際に外壁の素材を見てみたい(木目調などに関して)といった声もあり、委員会としてもALC板の木目調を確認したいため。

4. 新たな図面の提示

これまでは会館北側に玄関口が一か所であったが(カフェと共用の入り口)、会館利用の教室によっては110名の生徒の出入りがあります。数時間内に子供が100名以上出入りする状況はカフェとして疑問が生じたことから、谷口委員より、新たな提案として、カフェ入り口と会館(集会室)利用者の入り口を分けるプランが提示されました。(別紙A3図面参照)

* カフェ専用入り口が北側、会館利用者入り口が西側

利用状況・稼働率が増えたとはいえ、約9千名にも及ぶ東町住民の全体数から見た場合、東町会館利用者<カフェ利用者(対象として)である事は明確であり、入り口を二つに分ける事にはなんら不合理はないとの認識で一致しました。

また、会館南側に駐車場、駐輪場が設置されており、そこからの動線を考えた場合、西側に会館利用者の入り口が設置される事には整合性があるとの考えで一致しました。

以上のことから、理事会での承認を経て、上記プランを豊中市へ伝える事としました。

また、調理室に関して、新プランでは床面積が小さくなっていますが、現在の利用状況(月1回)では、広い調理スペースを取るのが難しく、校区福祉委員会に先々の展望を確認してもらう事としました。

(まだ少し、議論、調整の時間もあり、レイアウトの微調整も可能なので)

会館内に設置予定の倉庫に関しても、今後各団体で方向性を整理してもらう事としました。

5. その他

現状の計画図面を見る限りでは、東地区の核店舗(スーパー)を含む商業施設内にトイレがあるかどうか不明だが、不特定多数の買い物客のトイレ利用を会館が一手に受けるには無理がある。

市の公共施設につき、会館利用者・カフェ利用者以外の住民によるトイレ利用を拒むことはできないが、原則買い物客のトイレ利用は商業施設側で完結できるよう行政を通じて申し入れる事で合意しました。

また、新地区会館(集会室、カフェ、こども施設、郵便局)で利用できるゴミ集積所が無いと見受けられることから、敷地内にゴミ集積所を設置してもらえよう申し入れる事としました。

★次回委員会開催日
次回ワークショップ前 日時未定